

第9章 今後の課題

第9章 今後の課題

(1) 情報公開の考え方の整理

① 成果や評価結果等に対する情報公開不足からの疑念に対する対応

外部からの批判の主なものは、情報公開が不足していることからの疑念や疑惑から生じている。これまでの業績や成果は、相当数残しているものの、一般公開や情報提供、成果物の販売（利益を含まず実費のみ）等へのサービスができる形態に業務が整理されていなかった。

② 広報、機会均等性という観点からの情報提供のあり方

公共が提供している職業能力開発に関するサービスの有用性及び効果に関する情報提供の不足から提供されている訓練コースの意義やメリットについて適性に判断が困難である。訓練効果測定の結果は、できるだけ集計し、公開することが必要である。特に、利用者の声については、広報にも結びつくので積極的に情報提供を図る。

(2) 職業能力開発事業の目標とコストに見合った訓練効果測定方法の検討

本来業務の目標達成とコストに見合う訓練効果測定方法を検討し、訓練効果測定に関する項目を整理する必要がある。

「プロセス項目ごとの訓練コースの評価項目一覧（案）」は、訓練業務の各プロセス段階で実施される事柄（プロセス項目）とそれを評価するコストと労力の度合いを5段階のレベルに分けて整理を試みた一覧である。この一覧をたたき台として検討する必要がある。

今回、試行した訓練効果測定の見直し範囲は、網掛けの部分のみである。

(3) 民間参入を促進する環境整備

民間が公的事業に参入しやすい環境作りを推進する（市場化テストの実施等）（公設民営、公的業務の委託の推進）。

(4) 国民への教育訓練サービスの最終目標に対する訓練効果との関連性の説明

① 個人と社会の生産性の向上（効率議論）

② 離転職に対する再就職の機会均等

③ 産業構造の変化に伴う適切な労働者の供給（失業無き労働移動、好況な産業への若年労働者の供給）

④ 生計費（収入）を得るための教育訓練の受講機会の均等性、平等性（平等議論）

特に、収入を得るのに不利な者への訓練に対するアクセス管理の必要性

⑤ 教育訓練は、地域発展の促進、優先産業分野の支援、輸出増大、地域への資本誘致、賃金上昇等の、国家経済の社会目標を達成する政策

⑥ 経済的効果に加えて、国民の犯罪減少や衛生改善、社会との融合改善等の多大な社会利益（外界存在性）

(5) 若年者訓練の整備

- ① 若年者の職業訓練の習得が彼らのスキル証明（キャリアパスポート）となるような体制整備
- ② 特定職業能力の習得と社会人としてのヒューマンスキルを自己チェックでき、モチベーション向上に役立つような仕組み
- ③ 職業訓練に際しての事前オペレーションが整備され、若年者が積極的に職業訓練に臨め、自らの設定した目標（効果）に向かって努力ができる体制

(6) 国民に理解しやすい影響力のある効果的な業務の取り組み

- ① 地域の産業振興政策への参画
- ② 地域の資本投資と職業訓練とのリンク
- ③ スケールメリットを活かした職業能力開発の実施
- ④ 地域のイベントへの積極的な参画
- ⑤ 成果・効果の積極的広報（新聞記事、雑誌等への投稿・掲載実績）
- ⑥ 地域ごとで影響の大きい職業訓練コースの企画の促進
- ⑦ 職業能力開発施設と大学や高校など学校教育機関の連携

プロセス項目ごとの訓練コースの評価項目一覧(案)

プロセス項目 段階	IV 訓練実施に向けた準備	V 訓練コースの実施	VI 訓練コースの評価	VII 訓練コースの改善
レベル5	I 訓練コースの選定 II 実施訓練分野の選定 III 訓練カリキュラムの設定 ※1「運営コスト」参照 ※2「運営コスト」参照	● 利用者が負担した料金からの収益	ROI(return on investment) 投資利益率 (サンプリング手法による検証) ● 訓練サービスで得た収益 ※1「運営コスト」参照 ※2「運営コスト」参照	● 改善により向上した付加価値、ROI(バネルデータ)
	● 企業誘致に運動した雇用創出と訓練コースの設定 ● 訓練コースの市場性評価	● 技能の継承度合い ● 新たな仕事の創造(創業等、雇用創出関係)への支援	● 修了生の収入	● 訓練コースの利用者(事業主等)の改善に係る感想・意見の紹介
レベル4	● 民間では参入できない分野での公的機関の役割検証(民間活力の導入を前提)	● 公的機関との業務連携及び地域の産業界との交流度合い	● 顧客(雇用主等)の満足度(初階または受講生の派遣先企業へのヒアリング又はアンケート調査) ● 修了生の定着率	● 訓練コースの利用者(受講生等)の改善に係る感想・意見の紹介
	● 訓練コースのカリキュラム設定に係る外部評価 ※1「外部評価」参照 ● 産業界ごとの委員会における意見聴取	● 外部講師の活用度 ● 関係機関との業務連携及び地域の産業界との交流度合い	● 訓練の品質保証 ○ (サービスの質の指標) ● 公共機関の実績を類似のプログラムを提供する民間組織との比較	● 顧客(修了生)の満足度 ● 修了生へのヒアリング又はアンケート調査
レベル3	● 利用者(求人事業者・求職者)からの評価	● 指導員のスキル評価(専門性、指導力)	● ラーニング(学習力) ● 訓練中・修了時の理解度・習得度の確認 ● 一定レベルを得て卒業した割合 (例:資格取得数等)	● 中期計画に対する能開施設の取り組み評価
	● 離職者、在職者の量的ニーズへの対応度合い(例:都道府県別訓練定員数/有効求職者数) ● 公的資金を投入する教育訓練機関の参入条件の公開 (市場化テスト、訓練内容の公募、公・民間問わず、サービス企業の企画書募集の機会均等及び競争) サービスの企画書募集の機会均等及び競争)	● 訓練受講前の公的サービス(説明会、初階研修等)の出席件数(研修数) ● 相談件数(初階相談、キャリア相談時間をかけた相談の件数)	● 公的資金による訓練への公平なアクセスの評価(認知度) ● 求職者・在職者の認知度(訓練コースの受講機会、キャリア相談等のサービス)	● 公的資金による訓練への公平なアクセスの評価 (中小企業の利用度合い、初階訓練に対する割合、専任的訓練に対する割合、不利な者(収入、長期失業者など)に対する割合)
レベル2	● 就業支援・職業能力開発を検討する機会(地域協議会等)	● 民間職業紹介所、業界団体、調査組織との協力度合い	● リアクション(反応)リアクションプラン ● 満足度、習得した内容の活用計画 (受講生、訓練生)のヒアリング又はアンケート調査) ※1「満足度」参照	● 訓練コースの見直しプロセスの検証公開 (カリキュラムモジュール等の精査結果の公開等)
	● 失業者に関する労働市場情報の分析	● 訓練コースの広報・普及方法	● 訓練コースの情報・普及方法	● 訓練コースの見直しプロセスの検証公開 (カリキュラムモジュール等の精査結果の公開等)
レベル1	● 事業主に対するマーケティング調査	● 訓練コースの情報・普及方法	● 訓練コースの実施結果に対する外部評価 (企業界ごとの委員会、民間職業紹介所、業界団体、調査組織等)	● 訓練コースの見直しプロセスの検証公開 (カリキュラムモジュール等の精査結果の公開等)
	● 過去の生産性と現在のアウトプットとの比較	● 訓練コースの情報・普及方法	● 訓練コースの実施結果に対する外部評価 (企業界ごとの委員会、民間職業紹介所、業界団体、調査組織等)	● 訓練コースの見直しプロセスの検証公開 (カリキュラムモジュール等の精査結果の公開等)

(注1)レベル内の項目は順不同
(注2) ●:取り組んでいる。 ○:一部取り組んでいる。

調査研究資料 No. 114
公共能力開発施設の行う訓練効果測定
—訓練効果測定に関する調査・研究—

発行 平成 17 年 3 月
編集・発行 職業能力開発総合大学校 能力開発研究センター
〒 229-1196 相模原市橋本台 4 - 1 - 1
TEL (042) 763-9046 (普及促進室)

印刷 株式会社ワークワン
〒 229-1125 相模原市田名塩田 1 - 14 - 2
TEL (042) 778-6765

ISSN 1340-2404

調査研究資料 No.114
2005

THE INSTITUTE OF RESEARCH AND DEVELOPMENT
POLYTECHNIC UNIVERSITY